

近所散策と

東京散策

上村 慶次

四十年近く続けたサラリーマン生活に終止符を打って、やがて三年が過ぎようとしている。

退職した当初は、毎日が自由な時間ということに大いなる戸惑いがあったのだが、今ではその豊富な自由時間を持て余すこともなく上手く使って過ごしている。

サラリーマン時代は、大方は会社と家との往復であった。休日の時折はどこかへ行くと言っても、長時間であることはなかった。時間に余裕がある時といっても、せいぜいは三連休あたりまでのことであるから落着くものではなかったのだ。
ところが、今ではその自由な時間が豊富にあるから長期間を出歩くことも大いに可能であり、これはよい。

趣味で所属している文芸の結社が東京を拠点としている関係もあり、サラリーマン時代よりは上京することがたびたびとなった。かつては、土曜日の朝上京して日曜日の夜に帰ることを繰り返していたが、今ではその前後の日々を東京で過ごすことが日課になっている。

自称して「遅ればせながらの御上りさん」という。無聊、数ある地方都市もその土地土地での良さを思うし、東京礼賛のつもりは毛頭無いが、東京の面白さは良くいえば幅が広いあるいは奥行きがあるとでもいおうか。言ってしまうと、その落差の激しいことにある。これが、どうしようもなく面白いのだ。

銀座を歩いての通りの店で、その値札の0の桁数に驚くのも一興であり、また浅草で一杯ん百円の酒を飲むのもこれまた一興であろう。

東京といえは、この頃ではすぐ新丸ビルや六本木ヒルズ、汐留などなどの観光スポットが云々されるが、まだまだ捨てたものではなく面白いのは下町と称されるところでである。ここにはまだ人情が残っているところがある。

リフォームの相談は
ファビルス
お問い合わせは4314611へ

先日上京の際に、江東区砂町を訪ねた。この町にはある有名な俳人が戦後しばらくの時季を暮らしたところでもあり、その俳人の記念館ができたというので訪ねてみた。その俳人の著書にも出てくる砂町銀座というの歩いてみたが、今日でも道を問えば親身になって教えてくれるなどなど、これぞという庶民の生活を感じさせる嬉しいところであった。

そのような東京も良いが、これまた良いのが近所である。東京にも四季はあるが、それ以上に自然のある四季が近所にはある。

家と会社とをただ往復していた頃は、朝は女房の車で最寄りの西鉄の駅まで行き、帰りの時間はもう暗くて自然があるとすれば最寄りの西鉄バ

ス停からの月と星や夜気くらいなものであり、休日は休養を取ると称しては家にごろごろ。それが今では違う。自由な時間をゆっくりと歩くことになると、我が家の近所も自然の宝庫なのだ。つまり、俳句という季語の宝庫なのである。花草木は無論のこと、昆虫に鳥に小動物。我が家からバス停までの二三分を歩く間に、そして狭い我が家の庭にも彼らは咲きまたやってくる。

この時季には梅、水仙、椿、千両、万両、葉牡丹などが咲き、寒雀や鴟がくる。春には桜、紫荊、躑躅、木蓮、鶯、雲雀、燕など、夏には薔薇、牡丹、紫陽花、茉莉花、夾竹桃、蠅虎、雨蛙、蟻、蜥蜴、蛇、白鷺、目白など。秋には木犀、芙蓉、橙、蜻蛉、ちちろ虫、蟪蛄、鴟、ひよなどあげていけば枚数にいとまがない。

気になっていながらも、この自然を見落としていたことには大いなる反省をもって、これからはこの身近にある自然をじっくりと見つめていこうと思

散策する心は、例えどこの土地を歩いても変わることはないであろうから。筆者は(株)西広OB

営業時間 土曜11時未～土曜10時
 豊岡中城委区中洲2.1日3-10 ☎(581) 8331

豊岡 西広OB

西広OB